部長及び参事官　　刑企発第133号
殿　　平成28年３月15日
所　属　長　　10年保存（口訓）
本　部　長

【沿革】平成28年11月24日刑企発第515号
令和５年８月14日刑企発第321号
令和６年11月８日刑企発第395号

捜査報告書等の様式の制定について（通達甲）

捜査書類の作成に係る事務の簡素化及び斉一を図るため、捜査報告書、実況見分（検証）調書の「実況見分の経過」欄の記述に用いる様式等については、「捜査報告書などの様式制定について（例規）」（昭和44年８月30日高捜一発第366号）及び「写真利用による実況見分（検証）調書の作成方式の制定について（例規）」（昭和48年９月19日高捜一発第487号ほか）（以下「旧例規」という。）により定めているところであるが、高知県警察公文書管理規程（平成27年６月本部訓令第18号）の施行により公文書種別から例規をなくすることに伴い、高知地方検察庁と協議の上、当該様式を次のとおり定め、平成28年４月１日から運用することとしたので、誤りのないようにされたい。

なお、旧例規に定める別記様式の犯罪捜査・事実現認報告書以外の様式は、この通達甲の運用後も、残品の限度で使用することができる。

記

１　捜査報告書（別記第１号様式）
捜査状況、捜査により明らかにしようとする事項その他捜査に関係する事項を報告するための書面として様式化したものである。

２　診断書受領報告書（別記第２号様式）
診断書を受領した際に、その経過を明らかにするための書面として様式化したものである。

３　被害品確認書（別記第３号様式）
発見した被害品について、被害品であることの確認結果が明確な場合において、参考人供述調書の作成に代えるものとして様式化したものである。

４　写真台紙（別記第４号様式）
実況見分（検証）調書、写真撮影報告書その他の写真と本文により捜査に関する事項を明らかとしようとする場合に用いる書面として様式化したものである。

5　電話による本籍照会について（別記第５号様式）

事件送致（付）、令状請求等において急速を要し、捜査関係事項照会書又は身上調査照会書による自治体への照会の結果を待ついとまがなく、当該自治体に対し電話による照会を行った場合に、その回答結果を明らかにする書面として様式化したものである。

6　窃盗被害品発見報告書（別記第６号様式）

自転車、自動二輪車その他窃盗被害品を発見した場合において、公訴上実況見分調書を作成する必要のないときに、証拠保全のため作成する書面として様式化したものである。

7　司法罫紙（別記第７号様式）

捜査報告書、供述調書等の司法警察職員捜査書類の継続用紙として様式化したものである。

8　写真撮影報告書（別記第８号様式）

犯罪の現場その他の場所、身体、証拠品等を撮影した場合において、その状況及び経過を明らかにするための書面として様式化したものである。

9　鑑識資料押収状況報告書（別記第９号様式）

鑑識資料を押収した場合において、当該鑑識資料及びその押収経緯、状況等を報告するための書面として様式化したものである。

10　受還付権放棄書（別記第10号様式）

所持者又は保管者から証拠品の提出を受け、当該所持者又は保管者が還付請求権を放棄した場合において、その状況を明らかにするための書面として様式化したものである。

11　仮還付証拠品提出書（別記第11号様式）

押収した証拠品を所有者、所持者、保管者又は差出人に仮還付し、再び当該証拠品の提出を受けた場合において、その経過を明らかにするための書面として様式化したものである。

12　電話通信紙（別記第12号様式）

電話による照会、聴取等を実施した場合において、その通話内容等を明らかにするための書面として様式化したものである。

13　身元及び犯罪経歴等の調査について（別記第13号様式）

電話による捜査対象者の身元、犯罪経歴等の照会を実施した場合において、その経過及び結果を明らかにするための書面として様式化したものである。

14　身柄引請書（別記第14号様式）

被疑者の身柄を引き渡した場合において、当該身柄を引き請けた者が、被疑者の監督等を誓約したことを明らかにするための書面として様式化したもので

ある。

15　返戻について（別記第15号様式）

裁判官から発付を受けた各種令状を有効期間内に執行することなく返還する場合において、その理由等を明らかにするための書面として様式化したものである。

16　被害者等人定事項等報告書（甲・乙）（別記第16号様式）

被害者及び犯罪捜査における関係者（被疑者及び共犯者を除く。）の人定事項を集約して記載するための書面として様式化したものである。

別記
第１号様式（１関係）

年　　月　　日

警 察 署 長
司法警察員

殿

警 察 署
司 法

㊞

捜　査　報　告　書

高 知 県 警 察

第２号様式（２関係）

診　断　書　受　領　報　告　書

下記のとおり診断書を受領したから報告する。

年　　月　　日

警察署長
司法警察員

殿

警察署
司法

㊞

罪　　名	
発　生　場　所	
事件発生年月日時	年　　月　　日　　午　　時　　分ころ
診断書提出年月日	年　　月　　日
被　疑　者 住居、氏名、年齢	
提　出　者 氏名、年齢 被害者との関係	

第３号様式（３関係）

被　害　品　確　認　書

ただいま見せていただきました下記の品物は、　　年　　月　　日
警察署へ被害届を出した盗難被害の品物に間違いありません。

年　　月　　日

警 察 署 長　殿

（被害者との関係　　）

氏 名

年 齢　　歳

領置番号	年　月　日 提 出 者 等	品　　目	数 量	被害品に間違いない理由

上 記 本 人 の 依 頼 に よ り 代 書 し た。

警 察 署

司 法　　㊞

第４号様式（４関係）
（その１）

写真番号	

（その２）

写真番号	

（その３）

写真番号	

写真番号	

第５号様式（５関係）

年　　月　　日

警 察 署 長
司 法 警 察 員
殿

警 察 署
司 法
㊞

電 話 に よ る 本 籍 照 会 に つ い て

（自称）本籍
戸籍筆頭者氏名
氏 名
年　　月　　日生(　　歳)

上記の者に対する本籍を電話により照会した結果は、下記のとおりであるから報告する。

本　　籍			
氏　　名 年　　齢	戸籍筆頭者氏名 氏名 年　　月　　日(　　歳)		
照会、回答 日　　時	市役所 町村役場	照会	年　　月　　日　　時　　分
			対話者
		回答	年　　月　　日　　時　　分
			対話者
備　　考			

第６号様式（６関係）

解除	照会センター	日　時　分	対話者		取扱者	

窃 盗 被 害 品 発 見 報 告 書

警 察 署 長
司 法 警 察 員　殿

年　月　日

警 察 署
司 法　　㊞

次のとおり、窃盗被害品を発見したので報告する。

発　見　者				
発 見 日 時	年　月　日　曜　午　時　分ころ			
発 見 場 所			（付近略図）　N ↑	
発見時の状況				
発 見 被 害 品	品　目	数 量	特　徴	備　考
被　害　者				
被 害 日 時	年　月　日　曜　午　時　分ころ			
被 害 場 所				
備　考				

第７号様式（７関係）

司 法 罫 紙

高 知 県 警 察

第８号様式（８関係）

年　　月　　日

警察署長

司法警察員

殿

警察署

司法

写 真 撮 影 報 告 書

被疑者　　に対する　　被疑事件について、次のとおり写真撮影したので、その写真を添えて報告する。

記

１　撮影年月日

年　　月　　日

２　撮影場所

第９号様式（９関係）

年　　月　　日

警察署長
司法警察員　　殿

警察署
司法　　㊞

鑑識資料押収状況報告書

鑑識資料を採取して押収した状況は、下記のとおりであるから報告する。

事件名						
発生年月日						
発生場所						
被害者	氏名 年齢		被疑者	住所 職業 氏名 年齢等		
押収経緯						
押収状況						
押収資料	番号	資料名	数量	採取場所		採取年月日 採取者
立会人	氏名 年齢			備考		

押収資料	番号	資料名	数量	採取場所	採取年月日 採取者

第10号様式（10関係）

任意提出者に所有権がない場合に作成すること

受 還 付 権 放 棄 書

下記物件について受還付権を放棄します。

年　　月　　日

警察署
司法警察員
殿

氏名　　印

目　　録

番号	品　　名	数　量	備　　考

第11号様式（11関係）

被疑者	
罪　名	

仮 還 付 証 拠 品 提 出 書

年　　月　　日

警 察 署

司法警察員　　殿

氏 名　　㊞

（　　歳）

年　　月　　日、　　から仮還付を受けた下記物件を提出します。用済みの上は、処分意見欄記載のとおり処分してください。

提　　出　　物　　件

番 号	品　　名	数 量	提出者処分意見	備 考

取扱者印	

注１　本提出書作成の際、領置調書の作成は不要である。
　２　還付不要の物件には、提出者処分意見欄に必ず「所有権を放棄する。」旨明記させ、所有権放棄書を作成させること。

第12号様式（12関係）

電話通信紙

取　扱　日　時	受 発	信　　年　　月　　日　　時　　分
対　　話　　者		
作　　成　　者		

電話通信紙

第13号様式（13関係）

電話通信紙

照会日時	照会先		取扱者	
年　月　日午　時　分				

身元及び犯罪経歴等の調査について（照会）

本籍

出生地

住居

職業

氏名

年　月　日生（　歳）

上記の者について、捜査のため必要があるので下記事項を調査し至急回答されたい。

記

1　身元
2　犯罪経歴
3　指名手配
4　人相特徴等捜査上の参考事項

回答日時	対話者		取扱者	
年　月　日午　時　分				

身元及び犯罪経歴等の調査について（回答）

標題のことについて当課資料によって調査したところ、次のとおりであるから回答する。

記

1　身元

本籍

出生地

住居

職業

氏名

年　月　日生（　歳）

2　犯罪経歴

3　指名手配

4　人相特徴等捜査上の参考事項

指紋番号				

２号

犯　　罪　　経　　歴			
番号	警　　察　　署	検　　察　　庁	裁　　判　　所
	年　月　日 逮捕　被引渡　その他 罪名 警察署	年　月　日 不起訴　起訴猶予 中止処分 検察庁 支部	判決　年　月　日 罪名 刑名・刑期 裁判所 支部
	年　月　日 逮捕　被引渡　その他 罪名 警察署	年　月　日 不起訴　起訴猶予 中止処分 検察庁 支部	判決　年　月　日 罪名 刑名・刑期 裁判所 支部
	年　月　日 逮捕　被引渡　その他 罪名 警察署	年　月　日 不起訴　起訴猶予 中止処分 検察庁 支部	判決　年　月　日 罪名 刑名・刑期 裁判所 支部
	年　月　日 逮捕　被引渡　その他 罪名 警察署	年　月　日 不起訴　起訴猶予 中止処分 検察庁 支部	判決　年　月　日 罪名 刑名・刑期 裁判所 支部
	年　月　日 逮捕　被引渡　その他 罪名 警察署	年　月　日 不起訴　起訴猶予 中止処分 検察庁 支部	判決　年　月　日 罪名 刑名・刑期 裁判所 支部

第14号様式（14関係）

身　柄　引　請　書

年　　月　　日

警察署長　殿

引請人

氏名　　印

（　　歳）

続柄

ただいま、下記の者の身柄を引き請けましたので、今後は責任をもって監督するとともに、貴署又は関係官署から呼出しのある時には、必ず出頭させるようにします。

また、本人の住居の変更又は旅行等の場合には直ちにお知らせします。

本　　籍	
住　　居	
電　　話	
氏　　名	
生年月日	年　　月　　日生（　　歳）

取扱者印	

第15号様式（15関係）

発第　　号
年　　月　　日

高知　　裁判所
裁判官　殿

警察署
司法警察員

返戻について

被疑者
上記の者に対する　　被疑事件につき、
年　　月　　日高知
裁判所裁判官　　より
の発付をうけ捜査中のところ、下記理由により執行しなかったので返戻する。

記

理由

第16号様式（16関係）

被害者等人定事項等報告書（甲・乙）

年　　月　　日

警察署長
司法警察員
殿

警察署
司法
㊞

年　　月　　日発生、被疑者　　に対する　　被疑事件につき、☐被害者 ☐関係者 の人定事項について、下記のとおり ☐報告 ☐変更 します。

記

氏名（ふりがな）	
生年月日	年　　月　　日生（　　歳）
性別	☐男　☐女
住居	
職業 （勤務先・学校等）	
電話番号	
事件との関わり	☐被害者　☐告訴・告発人　☐参考人　☐任意提出者 ☐その他（　　）
家族関係	
使用車両	
参考事項	

注１：様式名の末尾は、被害者の人定事項を記載するときは甲、被害者以外の犯罪捜査における関係者の人定事項を記載するときは乙を○で囲むこと。
注２：☐のある欄については、該当の☐に✓印を付すこと。

	氏　　名			
	生年月日	年　　月　　日生（　　歳）	性　別	□男　□女
	住　　居			
	職　　業			
	電話番号			
	事件との関わり	□被害者　□告訴・告発人　□参考人　□任意提出者 □その他　（　　）		
	家族関係			
	使用車両			
	参考事項			
	氏　　名			
	生年月日	年　　月　　日生（　　歳）	性　別	□男　□女
	住　　居			
	職　　業			
	電話番号			
	事件との関わり	□被害者　□告訴・告発人　□参考人　□任意提出者 □その他　（　　）		
	家族関係			
	使用車両			
	参考事項			
	氏　　名			
	生年月日	年　　月　　日生（　　歳）	性　別	□男　□女
	住　　居			
	職　　業			
	電話番号			
	事件との関わり	□被害者　□告訴・告発人　□参考人　□任意提出者 □その他　（　　）		
	家族関係			
	使用車両			
	参考事項			

注：□のある欄については、該当の□に✓印を付すこと。